

令和5年度事業計画

1 開催準備業務

(1) 会場地市町村の選定

会場地が未選定となっている正式競技等の会場地市町村の選定を実施する。

また、デモンストレーションスポーツ実施競技を追加する。

(2) 広報・県民運動の推進

イメージソングの制作や専用Webサイトの開設により、大会開催の情報発信を強化し、気運醸成を図るとともに、広報ボランティアのあり方や花いっぱい運動の進め方など、県民運動の推進について具体的な検討を行う。

(3) 専門委員会の開催・運営

大会の開催に必要な準備を行うため、各専門委員会を開催し、必要な方針・計画・取組等の検討を行う。

(4) 各種調査の実施

大会の開催に必要な輸送手段及び宿泊施設の確保に向けて、現状や課題を把握するため、輸送・交通総合調査及び第一次仮配宿、宿泊施設充足対策意向調査を実施する。

また、このほかに会場地市町村における競技用具整備計画等の調査や障スポ競技会場でのバリアフリー調査を実施する。

(5) 「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ募金」の実施

ボランティア活動をはじめとした県民運動や、スポーツを活かした「未来のみやざき」づくりの推進を多くの方に支えていただくため、県内外の個人、企業及び団体を対象として募金を実施する。

2 会議の開催

(1) 総会（令和5年7月31日）

(2) 常任委員会（令和5年7月31日、令和6年2月上旬頃）

(3) 専門委員会

(4) 市町村・競技団体担当者会議

3 関係機関等との連携

(1) 市町村・競技団体との連携

市町村が行う競技会場の施設整備や、競技団体が行う競技役員等の養成に対する支援（補助事業）を実施する。

(2) 先催県等の準備状況調査

大会開催県の現地調査のほか、各種会議において先催県の取組や課題等について情報収集・意見交換を行う。

- 国民スポーツ大会委員会（年4回）
- 国民体育大会開催県検討会議（年2回）
- 開催地連絡協議会（年1回）
- 全国障害者スポーツ大会開催都道府県連絡会議（年1回）
- 全国障害者スポーツ大会後催県報告会（年1回）